

則内 誠一郎

☆易しい手筋物を目指してはいますが、そうではない作品も多々あります。すのうち せいいちろう

持駒 歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1
			歩	香				
		王	香		歩			
		桂		龍				
		飛		桂			香	

(詰パラ 平成11年9月号)

82 桂成、6二玉、6三步、同玉、
83 飛成、7三馬、同龍、同玉、
4六角、55香合、同角、6二玉、
72成桂、5一玉、4二龍、同玉、
33角成、4一玉、4三香迄19手詰。
☆多くの方に詰将棋を楽しんで頂き、
実戦の練習に役立てて欲しいと願って

います。例えば合駒をしつかりと読んでももらい、その合駒を奪い取る問題を結構たくさん作っています。筋のよい解答者からは少し嫌われるタイプかも知れませんが、その作風が最もよく表れているのが、この問題です。

初手に8二飛成と指すと僅かに手が足りませんので、まず成桂で攻めの拠点を築きます。6手目には馬の移動合で5一の逃げ道を作りますが、同龍と奪い取るのはお約束通りです。さて4六へ打った角は2四へ行くことが出来ますので、その筋を消すために香の中心で防ぎます。それも有り難く同角と頂戴して成桂が寄り、龍切りから香打ちまでの収束となります。

玉方2六馬の配置により、9手目の角と最終手の香は打つ場所が限定されています。当時は詰将棋のルールを十分理解できていなかったため、細かい所に神経を使いました。そこで散々悩んだのは20手目4二への合駒です。同

香不成ならば無駄合と断言できませんが、同香成や同馬は変長なのか否かと昔は真面目に悩みました。

近年は詰将棋の会合によく参加しています。詰将棋に取り組む姿勢など皆様から学ぶことが数多くあり、有意義で楽しい時間を過ごしております。

①昭和34年生。②大阪府吹田市。④越と英、たけとひで。⑤近代将棋平成5年3月号(余詰)。⑥百題強。⑦二段程度。⑨35年来の谷口均ファン。⑩人間と同レベルの情緒と感性を備えたソフトを切望します。⑪チェスプロブレム、音楽、美術。

